



CONTENTS

- 2 「親子で楽しめる！お天気講座」開催
- 2 市民センター事業
『しみセンの広場』実施報告
- 3 しみセン
市民センのひろば
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊
『鹿嶋おでかけ隊』
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「エフエムかしま市民放送 株式会社
局長 水井 美佐さん」



令和3年度文化庁伝統文化親子教室事業

『鹿嶋市伝統文化親子体験教室』

親子を対象に華道・茶道体験教室を開催

日本の伝統文化を次世代に継承し、文化的で豊かな社会づくりを進めるために、子どもたちがより一層芸術や文化に目を向けることができる機会を提供し、芸術文化に親しむ市民のすそ野を広げ、伝統文化の継承や郷土愛の定着を目的に開催しました。



講師：鹿嶋市文化協会 茶華道連盟 会長 山田 博子 さん

今回の教室は、日本の伝統文化を代表するものの一つとして「お茶」、「お花」を広く知っていただくよい機会であったと思います。参加者の方からも「すごく新鮮な体験ができた」などのコメントをいただき、とてもやりがいを感じています。本事業を通して、日本人として日本の文化を「すばらしい」と感じていただけたらうれしいです。

華道体験教室

対象：親子20組(40名) 会場：鹿嶋市立中央公民館

日程等 ▶ 令和3年12月～令和4年3月(計6回)



▲華道教室の様子①



▲華道教室の様子②



▲華道教室の様子③

茶道体験教室

対象：親子24組(48名) 会場：鹿嶋市立高松公民館

日程等 ▶ 令和4年1月～3月(計3回)



▲茶道教室の様子①



▲茶道教室の様子②



▲茶道教室の様子③

親子で楽しめる！お天気講座

講師：気象コンパス 代表 古川 武彦氏（元 気象庁予報課長・理学博士）



近年日本各地で異常気象による集中豪雨などの災害が頻発しており、これからの気象災害に備えるためには、天気予報への理解や市民の防災意識の向上を図ることが必要と考えられます。そのため、市内在住の小中学生の児童生徒並びに保護者を対象とした「親子で楽しめる！お天気講座」を開催しました。天気予報への関心を高め、SDGs（持続可能な開発目標）の一つである「SDG13（気候変動に具体的な対策を）」についても学習できる機会にしたいと考えています。今号では、2月26日（土）に開催された第1回目の様子及び主な内容をご紹介します。



1. 第1回講座テーマ

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 天気予報の仕組み | 2. 「雲」の仕組み |
| ● 空気、水蒸気、気圧 | ● ペットボトルで作る雲の仕組み |
| ● 気象観測の方法 | ● 雲の種類と高さ |
| ● 気象観測網 | |
| ● 天気予報の手順 | |
| ● 主な天気図 | |



▲〇×クイズ実施の様子



▲「雲」をつくる実験の様子

2. 第1回講座内容

3種類の気象観測機器（気圧計・雨量計・風速計）を親子で実際に触れて、機器の原理や使用方法を学習しました。また、気象庁の観測システムの仕組みや雲の種類をクイズをとおして楽しく学習しました。

講座の後半では、ペットボトル容器を使用した雲を作る実験を行い、親子で協力し合いながらの学習で親子間の交流を深めました。

講座終了後、講師の先生と意見交換をしている方もいて、参加した親子にはとても貴重な経験になりました。

3. 講座の概要

第2回 **3月12日(土)** 実際に自分たちの目で雲を観察し、観察の仕方や雲の変化・種類について学び、具体例を交えて役割や発生理由などを学習します。
13:30～15:30

第3回 **3月26日(土)** 気象キャスター体験として親子で予報した天気を発表し、推測力を身に付け、また情報発信の仕方を学習します。
13:30～16:00

家庭でもできる「雲」づくり実験！

ペットボトル中に雲をつくってみよう

- ① ペットボトルに水を3～5cmくらい入れて栓(フタ)をしてよく振る。
- ② 水を捨て、ペットボトルを少しへこました状態で栓をする。
- ③ ペットボトルを強く握ったり、ゆるめたりしながら懐中電灯で観察する。
- ④ 栓を開け、線香の煙をほんの少し入れペットボトルを少しへこませ栓をする。
- ⑤ ペットボトルを強く握ったり、ゆるめたりしながら懐中電灯で観察する。



実施報告

令和3年度 まちづくり市民センター事業

しみセンの広場

～希望をつなぐ『て～らの光』～

3月4日・5日・6日の3日間開催しました！

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月5日（土）・6日（日）に予定していた「第15回て～ら祭」は中止となりましたが、日頃まちづくり市民センターで活動している団体の成果発表の機会を創出しようと開催しました。内容は、各団体が作成した作品や活動を紹介する「展示会」や、て～ら祭ではステージでダンスなどを披露している団体活動の様子を映像で紹介した「上映会」、また「どきどきセンター」との同時開催として、鹿島大助人形づくりの実演や勾玉づくり体験などの「伝統文化体験教室」を実施しました。

また、コロナ禍のため活動が制限される中であっても、人々が笑顔で集い、新たな出会いの場を創出することを願う人たちの笑顔を「光」でイメージした、春のプチイルミネーションは3月27日（日）まで実施しています。



▲「展示会」の様子



▲「上映会」の様子



▲「勾玉づくり体験」の様子



▲「春のプチイルミネーション」

利用しています!!
しみせん
市民センのひろげ



一枚の折り紙で作られる四季折々の飾りや動物などはとてもワクワクし感動します。教室で教わる折り紙は、孫と一緒に折ることもでき、楽しさでいっぱいです。

かしま灘楽習塾「楽しい折り紙」受講生
立田 通子さん(厨)



ゆったりとした
厳かな雰囲気をも
つ古の音楽です。
鳳笙(ほうしょう)や
箏(こと)を練習し
ています。どうぞ
お気軽に音色を聴
きにいらしてくだ
さい。また、演奏
する仲間も現在募
集しています。

雅楽サークル
田中 直子さん(平井)

団体紹介



「ギタークラブ
アルペジオ」

古根 昌造さん(青塚)

私たちのクラブは、月2回(第1・3日曜日の午後)クラシックギターの練習をしています。クラブというよりは、ギターの教室といった感じです。先生が1名、生徒が9名の構成ですが、ベテランや初心者の方もいて、一人ひとりギターの習熟度が違うので、各自で弾いてみたいと思う曲を先生にお願いし、個人レッスンを受けています。

日頃は、和気あいあいと練習していますが、上達することはなかなか難しいです。そのため、早くギターの弾き語りや独奏等ができるようになればよいなと思いつつ活動しています。



▲日頃の活動の様子

地域レポート

まちづくり
探検隊 (vol.31)
～明るい高齢社会
の実現を目指す～



▲参加者を見守るスタッフの皆さん

ボランティアグループ『鹿嶋おでかけ隊』

鹿嶋おでかけ隊は、外出の交通手段に乏しい高齢者を支援し、生活環境の向上及び明るい高齢化社会を目指すことを目的として、これまで延べ34回(参加者450人以上)活動を実施しています。

発足のきっかけは、2018年2月に開催した共に創る大東会議(地域住民による支え合い会議)において、高齢者の方から買い物に関する悩みや意見が寄せられたことから始まりました。その後「運転ボランティア養成講座」を受講した大同地区住民が主体となり、4人の発足メンバーで鹿嶋おでかけ隊が結成され、2018年11月20日に第1回目の活動を行い、現在に至っています。

活動は、大同地区及び中野地区にお住まいで、買い物への交通手段が厳しい高齢者を対象に月に1度、スタッフが自家用車で送迎をするという内容です。また、参加者の手配は「地域包括センター」が、売り場での付き添いは傾聴ボランティア「ひまわり会」の協力のもとで行っているとのことです。

スタッフの方からは、「大野区域は空き家もたいへん多く、独居老人の方が多いため、自分自身も何かしてあげたいと思いつつ活動に参加しています。家にいるだけの生活ではなく、外(外出)の世界に接する大切さを感じます。」という声があり、活動に対するやりがいも伝わってきました。また、利用者からは、「買い物の機会を楽しみにしており、車内や外でもお話しできる場ができて楽しく利用させていただいています。」という声が多く、人と人のつながりの大切さを感じました。

今後の活動目標について代表の田口さんは、「利用者をもっと広げるとともに、月に2回程度活動ができるようスタッフの増員を図ってきたい。」と話してくれました。

現在もボランティア隊員の募集をしておりますので、関心のある方はぜひお問合せをしてみたいでしょうか。

【問い合わせ先】080-5281-6711 (代表: 田口 憲二さん)



▲買い物に寄り添う傾聴ボランティアスタッフ



▲荷物の積み込みを手伝うスタッフ

お知らせ

鹿嶋市立公民館HPをリニューアルします!

『使いやすさの向上』や『セキュリティ対策の強化』を目的に、現在運用している鹿嶋市立公民館ホームページを鹿嶋市公式ホームページのサブサイトとして令和4年4月から運用する予定です!



対応予定です
かしまナビにも



ウェブサイトもご覧ください!



ホームページはこちらから!



Instagramはこちらから!

イベントや講座、広報紙など随時更新!

きらり★まちづくり (vol.31)

人との出会いが『財産』

エフエムかしま市民放送 株式会社

局長 水井 美佐さん(荒野)



地元への恩返し

「阪神淡路大震災」をきっかけに災害情報を伝えるツールの一つとして、平成12年8月7日にエフエムかしまが開局。私は、第1期生パーソナリティとしてデビューしました。

当時の私は、地元鹿嶋に帰郷し、せっかく地元に戻ってきたので、何か自分にできるボランティアがあるなら始めてみたいと思っていた時期でした。結婚式やイベントの司会をする仕事をしていたこともあり、鹿嶋市にラジオ局が開局するなら自分にもできることがあるのではと思い、姉と二人で試験を受け、合格・デビューとなりました。

最初の頃は、「モーニングアクセス」という朝番組を担当していて、今とは違い当時は立ちながらマイクに向い、となりでは幼稚園に行く子どもが寝ていました。(笑)

バトンを渡す

これから先、一番大事にしていきたいことは「人材育成」ですね。エフエムかしまは、今年の8月で開局22周年を迎えるのですが、この先

50年、100年、その先までずっとエフエムかしまを存続させていかなければいけないと感じています。

災害・防災に役立つことを第一の使命として、鹿嶋になくてはならないものであると、21年の活動を通して実感しています。

そのためには、社員一人ひとりがコミュニティFMの使命を感じ、成長していくことが大切です。働きやすい環境を整え、「エフエムかしま愛」で溢れている職場を作り上げ、次の世代にバトンを渡していきたいですね。

こころを開く

取材をするうえで心がけていることは、相手に対して自分自身が心を開くことです。自分が心を開くことで相手も心を開いてくれますし、リラックスできる雰囲気を作ることで相手の魅力を引き出すことができます。

また、情報発信において重要なことは、正確な情報をいち早くお届けすることに尽きると思います。

私は一市民の立場で、今皆さんがどんな情報を必要としているのか、

考えながら情報をセレクトしています。そして出会った方々との「縁」を大切に、エフエムかしまのファンになってくださることを願っています。

「かしま」の変化

私がこれまでの活動をとおして感じていることは、「鹿嶋つ子」の成長ですね。取材に行くと、最初の頃はインタビューに上手に答えることができない子が多かったんですよ。でも最近では、経験を積み重ねてきていることもあり、質問に対する受け答えがしっかりできるようになりました。

また、子ども達で構成を考え、司会進行も上手に行って番組の制作もしています。“かしまつ子の成長は本当に素晴らしい！”

私自身、鹿嶋で育ち、変わり映えない「まち」というイメージを持っていましたが、今では若い力と発想力による新しい動きにワクワクを感じています。

エフエムかしまとしても、鹿嶋のチャレンジに寄り添いながら、共に成長していきたいです。

活動風景



▲現地取材をしている様子



▲活躍するパーソナリティの皆さん

PROFILE

■みずいみさ

- ・鹿嶋市荒野在住
- ・エフエムかしま市民放送 株式会社 局長
鹿嶋市文化スポーツ振興事業団 理事
かしま少年少女合唱団「虹キッズ」 監査
- ・座右の銘

「今日やるべきことは 今日中にやる」

- ・趣味は旅行、アウトドア、ピアノを弾くこと